



鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第50号

発行:2010年6月15日

発行責任者：
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守

看護フェスティバルを開催して

～皆様、はじめまして～

横浜ほうゆう病院 看護部長 渡辺 真利子



今年度4月より、横浜ほうゆう病院の看護部長に就任いたしました渡辺真利子と申します。未熟者ですが、前任の方々や永澤看護統括部長のご教示をいただきながら、お役に立てますよう努力してまいり所存です。どうぞ、皆様のご忌憚のないご助言ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

さて、就任して、早くも3ヶ月目を迎えようとしています。この間にも様々なことがあり、めまぐるしく時を過ごしております。中でも、看護の日のイベントでは、横浜ほうゆう病院のスタッフ連携の強さ、あたたかさをたくさん感じる出来事でした。その一部をここで紹介させていただきたいと思います。横浜ほうゆう病院では、例年、看護の日のイベントでは『まちの保健室』と言うテーマで、三ツ境の駅前広場で開催されてきました。昨年は200名近い市民の皆様がご協力をしてくださいました。しかし、今年度は駅前広場を確保することができませんでした。そこで急遽、施設内で行うこととなり、計画を練り直しました。そして、横浜ほうゆう病院の認知症専門病院として特化していることを中心に、専門医である小阪院長や日野副院長の専門医相談、認知症の家族の会の方に協力していただいた認知症相談、その他一般相談、AEDの体験、アンサンブルほうゆうによるコンサートなどを行うことになりました。私自身は施設内での看護の日のイベント開催の体験はありましたが、病院の皆さんにとっては初めてのことであり、新任の看護部長主導による開催ですから多くの不安があったことと思います。

イベント当日は、晴天に恵まれ、参加者は決して多いとはいえませんが、開催時間を待ちかねて早速小阪院長を頼りに来られた方の専門医相談が始まりました。また、今回は急なことで近隣の方々へは開催のお知らせをポスティングさせていただきました。それを見た老人会のリーダーの方が興味を持ち来て下さいました。この方は講演を希望されたので、**10月22日(金)18時からサンハートで行う予定の市民講座**をご紹介させていただきました。AEDの体験コーナーでは、参加者から、『(心臓マッサージ)人形だからできるけど、実際にはこんなに力が入れるのかなあ』『一般の人でもやれるの?(体験後)想像ができた。何かあったら躊躇せずやってみる』『すごい体験をした。今度はいつやるの?』など体験を通して自信に繋がりが実際に役立てようという言葉が聴かれました。アンサンブルほうゆうによるコンサートでは、ダイケアの方が入れ替わり立ち代り参加され、『楽しかった』『知っている歌なので一緒に歌った』『元気が出た』などの言葉をいただき、好評のうちに終わることができました。イベント開催の宣伝の仕方、外来患者への配慮など課題は残りましたが、最後はみんなでそろって、はいポーズの集合写真をとり無事終了しました。この体験を通して、事務部門のフットワークのよさ、縁の下の力持ち役割を進んで引き受けてくださる姿勢、看護部門をはじめとし、栄養課、薬局、診療部門の連携など、新任の私にはどれもこれも感謝、ただ感謝で目頭が熱くなりました。横浜ほうゆう病院スタッフの当たり前のように協力する姿勢、連携のよさに頭が下がります。皆さん本当にご協力ありがとうございました。

看護フェスティバル 2010



～看護の心をみんなの心に～

毎年5月12日は“看護の日”。これは、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、1990年に制定されました。鵬友会では、一般の方に気軽に看護にふれて頂くために、各施設でさまざまな催しを行いました。

横浜ほうゆう病院 5月13日(木)

小阪院長による認知症相談や、血圧・体脂肪計測、認知症チェックなどを行いました。また、イベントとしてAED体験や、職員によ

【小阪院長先生による認知症相談】



【AED体験】



【アンサンブルほうゆうによる演奏】



湘南泉病院 5月15日(土)

健康・栄養・薬についての相談を行い、参加者には、病院オリジナルカレンダーやティッシュを配布しました。延

新中川病院 5月12日(水)

当日はあいにくの雨。この日の為に準備をしてきたので残念ですが、来年はより素晴らしい



【末盛副院長先生による健康相談】



【傘をさしているのは、禁煙外来の加濃先生】